資金導入計画書（様式3-2-CD）

* 本様式は3ページ以内にまとめてください。
* プロジェクトリーダーおよび共同プロジェクトグループ代表者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費等の額、エフォート等を記入してください。
* 記入内容が事実と異なる場合には、採択内定されても後日内定を取り消しにする場合があります。
* 現在申請中・申請予定の研究助成等について、本事業の審査・選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じる際は、公募要領「10．お問合せ」に記載されたお問い合わせページを通じてまでご連絡してください。
* 最終選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出（写し）を求める場合があります。

## プロジェクトリーダー：（氏名）○○　○○

### 他制度等からの助成情報

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 受給  状況 | 研究課題名 | 研究期間（和暦） | 役割(代表/分担) | (1)本人受給研究費  (期間全体)  (2)〃(R●●年度予定)  (3)〃(R●●年度予定)  (4)〃(R●●年度実績) | エフォート(％) |
| （本提案） | 申請 |  |  | 代表 |  |  |
| ●●基盤研究 | 受給 | 課題名 | 平成●●年～令和●年 | 代表 | (1) 100,000千円  (2) 50,000千円  (3) 25,000千円  (4) 5,000千円 | 20 |
| ●●研究推進事 | 申請 | 課題名 | 令和●年～令和●年 | 分担 | (1) 140,000千円  (2) 35,000千円  (3) 8,000千円  (4) - | 10 |

* 現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください。
* 助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入してください。
* 「役割」は、代表又は分担等を記載してください。
* 「本人受給研究費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載してください。
* 「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動等や事業活動等の時間、その他の活動等を含む)を100％とした場合、そのうち提案するプロジェクトの実施に必要となる時間の配分率(％)を記載してください。本事業に採択されると想定した場合、受給中・申請中など全ての助成等のエフォートを記載してください。現在受けている助成等のエフォートを合計して100％を超えないようにしてください。
* 必要に応じて行を増減してください。

### 資金導入の情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資金導入対象 | 導入  状況 | プロジェクト体制における役割など | (1)導入総額(期間全体)  (2)〃(R●●年度予定)  (3)〃(R●●年度予定)  (4)〃(R●●年度実績) |
| ●●株式会社 | 受給済み | 共同プロジェクトグループA | (1) 100,000千円  (2) 50,000千円  (3) 25,000千円  (4) 5,000千円 |
| 一般社団法人●●●● | 受給済み | プロジェクト協力者 | (1) 140,000千円  (2) 35,000千円  (3) 8,000千円  (4) - |
| 公益財団法人●●● | 特定寄附 | プロジェクト協力者 | ●,●●●千円 |

* 資金導入対象はプロジェクトリーダーが構想するプロジェクトの目標達成に必要かつ合理的な団体等を適切な方法により選定してください。なお、資金導入対象の種別や、資金の導入方法について条件を問いません。
* 資金導入対象のうち、プロジェクトにおける役割等がある場合は、様式5.プロジェクト体制計画書の適切な項目に記載ください。
* 必要に応じて行を増減してください。
* 審査・選考に際して本項目について事務的な確認を行う場合があります。

## 共同プロジェクトグループA代表者：(氏名)△△　△△

※記入例はプロジェクトリーダーの項目を参考ください。

## 共同プロジェクトグループB代表者：（氏名）□□　□□

※記入例はプロジェクトリーダーの項目を参考ください。